

学校だより 熱 砂

<発行>
令和元年 11月6日
発行責任者：校長
和田 政男

パラメダリスト、山本篤選手来校！

10月5日(火)、リオパラリンピックの銀メダリスト山本篤選手が来校し、1時間ほどの講演をしてくださいました。リレーや走り幅跳びの競技映像を観せていただき、自分が陸上競技を始めた経緯、そこに至る困難さや自分の気持ちのもっていき方、今後の目標など、児童・生徒にとってとても刺激になるお話を伺いました。

特に、私も子どもたちも驚いたのは、「自分は脚を失って良かった」と山本選手が言い切ったとき。会場からは「えーっ」という声が聞こえてきましたが、山本選手は続けます。「自分がその後、パラリンピックに出場しメダルがとれたのも、ドバイに来てこうしてみんなと会えるのも、今の人生は脚を失ったからこそある。そう考えている」と。ここまで前向きに考えられる強さを、皆、感じ取ったのでした。

体育館で、軽く走るデモンストレーションも披露してくださり、講演後はサインや写真を求める子どもたちに囲まれ、しばらく放してもらえませんでした。

山本選手は、11月7~15日にドバイで行われる世界パラ陸上選手権大会に出場するために来られました。(詳細は、<https://jaafd.org/events/20191023-001-65>) 応援にお出かけになられてはいかがでしょうか。



11月1日(金)

授業参観

沢山のご家庭の皆様にお集まりいただきました。子どもたちもご家庭の皆様に見られるとあって、張り切って授業に参加している様子を感じられました。



授業参観後のアンケートを読ませていただくと、先生方の日頃の努力、授業準備の周到さ、ひとり一人の子どもをよく見ていることを評価するコメント、感謝の言葉を沢山いただき、校長としても嬉しい限りです。

改善への意見として、平日開催を望む声、一日だけではなく数日間の授業公開を望む声がありました。次年度の年間教育計画を策定する際の参考にさせていただきます。

沢山の保護者にお集まりいただいたこの機会を利用し、着任したばかりの校長から短い時間ではありましたが、学校の現状と今後の方針について述べる時間を設けさせていただきました。今、校長は全職員との面談を行い、話を聞き、過去のアンケートや残された資料を読んで学校の現状把握に努めています。そこか

ら明らかになってきた学校の課題を整理して対策を練ります。直ぐに実行できることは直ぐに改善策に着手し、時間のかかるものは学校運営理事会等とも協議しながら方向性を見つけます。出来ないことは出来ない理由を明らかにして公表します。そんなふうにして学校の改善を進めていきたいと考えています。そんな話をさせていただきました。

11月6日(水)

全校・体力テスト

日本であれば、学年の開始早々に体育の時間で行う「体力テスト」ですが、ここドバイでは夏の酷暑を避けるためこの時期に行います。

特徴的なのは、小中一貫校であるため、上級生が下級生を指導しながら行っていること



と。全校一斉に行っていること。砂漠のような校庭の砂を、前日に職員総出で水をまきながらローラーをかけて固め、ならしていたこと。職員の動きに感心し、生徒の動きを微笑ましく思い、「良い教育が行われているな」と感じる体力テストでした。